



## パーソナルコンピュータ利用技術学会 (JPCATS) 優秀研究発表賞

◇ 今回は、藤原菜帆さん（慶應義塾大学）のメッセージです！

慶應義塾大学 理工学部 物理情報工学科4年  
藤原菜帆

こんにちは。平成26年卒の藤原菜帆です。私は現在慶應義塾大学に在籍し、来年度からは通信会社で働く予定です。私の文章が関高のみなさんにお役に立てればと思い、書かせていただきます。

### \* 都会の大学に進学を決意

私は「大学生活を都会で過ごしたい」と高校入学当初からなんとなく思っていました。きっと都会のキラキラした雰囲気憧れていたのでしょう（笑）高校1年生の夏休みに参加した首都圏大学見学ツアーも私にとって大きな刺激となりました。実際に大学を目で見ることで、「何でもそろっている都会で大学生活を送りたい！」「ここで勉強したい！！」と強く思い、本格的に都会の大きな大学を目指すことにしました。もし今ははっきりとした目標を持ってない人がいたら、一度興味のある大学に足を運んでみて下さい。きっと何か変わるはずです。

そして念願の慶應義塾大学に進学することができ、憧れていた都会で大学生活を送ることができました。親戚も知り合いも誰もいない環境に一人で飛び込むのは正直不安でした。しかし、親元を離れることで家族のありがたみを実感することができ、また一から人間関係を築くことがとても新鮮でした。

都会には何でもあります。電車に乗ればいろいろな所へ行くことができます。つまり、自分が思い立てば何でもできる環境にあるのです。私はこのおかげでいろいろな経験をすることができました！！



友人との楽しいひと時

### \* テニスサークルに所属

大学では、50年の歴史があるテニスサークルに所属しました。私は高校卒業までずっとクラシックバレエをやっていたため、テニスは初心者です。環境が変わり、何か新しいことに挑戦したいと思い、テニスを始めたのです。

私が所属したテニスサークルには1～4年生を合わせると約100人が所属しています。人数が多いため、全国大会に出場したことがある経験者から私みたいな初心者まであらゆるレベルの人がいます。また、学年や学部を超えた交流も活発で、様々な人と仲を深めることができました。さらに、歴史が長いOB、OGとの交流も行われており、色々な刺激を受けることができました。

毎年夏には一週間、山中湖で合宿を行います。一週間テニス尽くしです。笑 私は執行役員に携わっていたため、サークルの仲間たちが楽しんで合宿に参加できるよう、夜通し練習内容やイベントを考えました。正直、一週間ほぼオールで合宿を作り上げるのは体力的にも大変でした。しかしその分合宿が終わった後の達成感は格別でした。サークル活動に4年間打ち込めたことは私の宝物です。



3年生の夏合宿にて同期と



必死に練習中

## \* 研究、そして学会での優秀研究発表賞受賞

ここで研究内容についても少し。私が今所属している物理情報工学科は、様々な分野の研究室があることが特徴です。量子コンピューターなどを扱う情報物理、ロケットや航空技術を扱うシステム工学、環境・エネルギー、MRIや医用画像処理などの医療技術、このように大きく分けて4つあります。

この中で私は「医療用の画像・信号処理」を行う研究室に所属しています。主に病気を診断するシステムの開発を目指す研究室です。もともと医療に興味があり、自分の身近で役に立つ研究をしたいと思ったため、この研究室を選びました。

私が取り組んでいるのは「病理診断の自動化を行うための画像処理」です。癌の診断は、患者さんから採取した組織を病理医の方が観察することで行われます。現在、その病理医が不足しているため、病理医を支援するシステムを開発することが大きな目標です。

12月には学会パーソナルコンピュータ利用技術学会(JPCATS)に参加し、研究成果を発表しました。初めての学会で緊張しましたが、優秀研究発表賞を受賞することができました。もうすぐ卒論提出があり、日々追われていますが、学生生活の集大成だと思い頑張りたいです。



## \* 最後に

勉強していると、辛くなることもたくさんあると思います。そんなときは自分が大学生活を送っている姿を想像してみたり、実際に大学生に話を聞いたり、大学を自分の目で見に行ったりしてみてください。そして自分の意志を強く持って、後悔のないように。応援しています！！

最後まで読んで頂き、ありがとうございました。